

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2023年1月分)

2023年2月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BH閣僚評議会の発足\(25日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[BH連邦上院の発足\(17日\)](#)

イ スルプスカ共和国

●[プーチン露大統領への勲章授与\(8日\)](#)

●[「RSの日」祝賀行事\(9日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーのNATO訪問\(16日～17日\)](#)

●[クリシュト閣僚評議会議長の国際経済フォーラム出席\(19日\)](#)

(2) 二国間関係

●[ファヨン・スロベニア外相のBH訪問\(13日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[杵渕駐BH日本大使のモスタル訪問\(24日～25日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BH閣僚評議会の発足(25日)

25日、BH下院においてクリシュト閣僚評議会議長が提出した閣僚名簿が賛成多数で承認され、閣僚評議会が発足した。副首相はテゲルティヤ財務大臣(セルビア系、SNSD。前閣僚評議会議長)及びヘレズ国防相(ボシュニャク系、SDP)が務める。

●BH上院議員の選出(27日)

27日、BH上院のボシュニャク系及びクロアチア系議員の選出がBH連邦下院で実施された。クロアチア系はHDZが3議席、HDZ1990が1議席、ZNG(新世代のために)が1議席。ボシュニャク系はSDAが2議席、NiPが1議席、SBIHが1議席、DFが1議席。なお、先だってRS国民議会で実施されたBH上院セルビア系議員の選出を受けた結果はSNSDが4議席、SDSが1議席。他方、上院の発足自体は未完了であり、議長団は未選出(注:2月16日に発足予定)。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦上院の発足(17日)

17日、BH連邦上院の初回会合が実施され、マルティノビッチ議長(留任、クロアチア系。HDZ)、イリッチ副議長(新任、セルビア系。SDP)、ハイダレビッチ副議長(新任、ボシュニャク系。NiP)が就任した。

イ スルブスカ共和国

●プーチン露大統領への勲章授与(8日)

8日、「RSの日」(後述)に際し、プーチン露大統領に対するRS最高勲章の授与が決定した。授与理由は、政治・経済等におけるロシア・RS関係の発展に対する同大統領の多面的な寄与によるもの。

ロシアによるウクライナ侵攻が継続する中での勲章授与に対して、EU、OHR及び当地米国・英国大使館等は非難声明を発出した。

●「RSの日」祝賀行事(9日)

9日、BH憲法裁判所が違憲判決を下した祝日である「RSの日」の祝賀行事がRS各都市で実施された。RS警察による祝賀行進は例年のバニャ・ルカではなく東サラエボで実施され、ダチッチ外相以下セルビアの閣僚数名、当地ロシア大使及び中国大使、ロシアのワグネル社関係者及びナイト・ウルフ等が参列した。

祝賀行事に際し、OHR及び当地米国、英国大使館等は憲法裁判所の判決を無視した違法行為であるとして厳しく非難した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーのNATO訪問(16日～17日)

ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーはブリュッセルを訪問し、ストルテンベルグNATO事務総長、パウアー同軍事委員長、クイント諸国及びウクライナ等の駐NATO大使等と会談した。ベチロビッチ・メンバーはウクライナ情勢を受けた欧州の安全保障状況の変化によるBHのNATO加盟の重要性の高まりを指摘するとともに、加盟に向けた新たなロードマップの策定を提案した旨述べた。

今般の訪問を受け、ドディックRS大統領及びツビヤノビッチBH大統領評議会議長(セルビア系)は、ベチロビッチ・メンバーの姿勢はBHの公的見解ではないとしてBHのNATO加盟に否定的な見方を示した。

●クリシュト閣僚評議会議長の国際経済フォーラム出席(19日)

19日、クリシュト閣僚評議会議長はスイス・ダボスで開催された国際経済フォーラムに出席した。西バルカン諸国首脳によるパネルにおいて、同議長はEU加盟への取り組みの重要性及び技術革新・インフラの刷新の重要性を強調した。また、ブチッチ・セルビア大統領、プレンコビッチ・クロアチア首相、アバゾビッチ・モンテネグロ首相及びライチャークEU西バルカン特使、メツォラ欧州議会議長等と会談した。

(2) 二国間関係

●ファヨン・スロベニア外相のBH来訪(13日)

13日、ファヨン・スロベニア外相がBHを訪問し、大統領評議会3メンバー及びトウルコビッチ外相と会談した。今般のファヨン外相の来訪は客年12月のBHへのEU加盟候補国の地位付与後初のEU要人の訪問であり、ファヨン外相はBHに対し引き続きの改革履行を求めるとともに、ロシアの影響をめぐって西バルカン地域のEU内でのプライオリティが高まっている旨述べ、地域の連帯及びEU加盟プロセスの継続の重要性を指摘した。

(3) 日・BH関係

●草の根・人間の安全保障資金協力事業「モスタル市バス公社バス整備計画」引渡式の実施(24日)

モスタル市訪問中の杵渕駐BH日本大使は令和4年度草の根・人間の安全保障資金協力事業「モスタル市バス公社バス整備計画」の引渡式に出席した。日本政府は同バス公社に対し、ミニバス整備のため79,462ユーロを供与。市郊外～病院の路線において運行し、8.2万人が直接裨益する。



(写真:バス引渡式の様子)

●令和4年度草の根文化無償資金

協力「ボルサスポーツセンター柔道場器材整備計画」(25日)

モスタル市訪問中の杵渕駐BH日本大使は、令和4年度草の根文化無償資金協力「ボルサスポーツセンター柔道場器材整備計画」の署名式に出席した。日本政府は同柔道クラブに対し柔道用畳マット、トレーニング器材の購入資金として75,207ユーロ(9,626,496円)を供与し、利用者等年間1,500人に直接裨益することが期待される。



(写真:署名式の様子)

3. 経済

(1)経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2022年12月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比1.3%のプラス、前年同月比で1.6%のマイナス。

●雇用／失業率

2022年11月の失業者登録数は35万4,700人(うち女性20万6,099人)で、前月比0.7%マイナス。前年同月比で6.2%マイナス。

●平均給与

2022年11月の平均給与(手取り)は1,175KMで、前年同月比で14.9%のプラス。

●消費者物価指数

2022年12月の消費者物価指数は前月比で0.6%のマイナス。また、前年同月比で平均14.8%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比で平均1%の上昇。

(2)経済政策・公共事業

●サラエボ・カントンによる再生可能エネルギー導入計画(27日)

サラエボ・カントン経済省は、EU加盟に向けた改革の一環として、再生可能エネルギーによる発電を行う公営企業の設立計画について発表した。デリッチ・カントン経済相は、BH電力公社が紛争終結から今まで発電所の新規建設を実現できていないうえ、民間企業のプロジェクトだけでは発電量が不十分であると指摘。BH連邦では発電量に占める再生可能エネルギーの割合がわずか3.3%であることから、太陽光及び風力発電のキャパシティ強化を目指すとした。

●BH公共放送の人員削減計画等(31日)

BH公共放送(BHRT)は、財政の逼迫を理由として、社員の削減及び土地の売却を行う

旨決定した。同局はRS公共放送からの受信料未払い、連邦における受信料回収率の悪さ等から長年にわたり財政問題を抱えており、昨年は80万KMの減収を記録、さらに税未払い等を理由として税務署による口座の凍結が行われたため(後に解除)、140万KMの損失を記録した。

(3)経済協力

●トレビニェ太陽光発電所の建設(24日)

24日、ハンガリー訪問中のツビヤノビッチ大統領評議会議長はオルバーン首相との会談後、トレビニェ(RS、クロアチア及びモンテネグロとの国境付近)太陽光発電所の建設は本年中に開始すると述べた。トレビニェ太陽光発電所はハンガリーの投資による西バルカン最大の太陽光発電プロジェクト(1.34億KM規模)であり、平均発電量は147.7GW/hとなる計画。